

民主島根

2024年
6.23
第1450号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

党出雲南部支部 農業と食を語るつどい

農業を国の基幹産業に

大平元衆議院議員らを迎え農業の存続を議論

日本共産党出雲南部支部は8日、大平よしのぶ衆院中国比例予定候補をパネリストに迎えた「稗原の農業と食を語るつどい」を中山間地域の出雲市稗原町で開き、約80人が参加しました。

パネリストはほかに、JAしまね出雲地区本部分部営農センターの板垣良志センター長、農事組合法人・野尻の郷の柿本榮代表理事、出雲市の三上幹孝農林水産部次長、コーディネーターは亀谷ゆう子衆院島根2区予定候補。

農業の担い手の減少や後継者問題、圃場基盤の整備や農業・農村環境を維持していく重要性、持続可能な農業経営の確立などについて討論しました。



つどいで報告する大平氏（左から2人目）（出雲市）



文部科学省と交渉する大平氏（左端）と党地方議員ら（国会内）

真ん中世代の声を届ける

中国ブロック

大平氏は、5月29日に自民、公明、維新の賛成で可決、成立した改定食料・農業・農村基本法にふれ、「最重要課題の食料自給率の向上を投げ捨てた」と批判。食料と農業、農村の危機を打開するためには「農林水産予算を思い切った増額する必要がある」と強調し、「農業を国の基幹産業に位置づけ、豊かな自然を生かす、若い人が取り組めるよう全力を尽くしていきたい」と話しました。

共産党が政府交渉

日本共産党国会議員団中国ブロック事務所は3日、仕事や子育て、ジェンダー平等など「真ん中世代」の要求実現を掲げ、オンライン併用で政府交渉しました。

企業・団体献金の禁止を

亀谷衆院島根2区予定候補

大平よしのぶ衆院中国比例予定候補をはじめ、党地方議員が国会内で要請。島根からは、橘ふみ松江市議が参加しました。

文部科学省との交渉では、小中学校の給食費無償化を国の責任で行うほか、高等教育の授業料・

が江津市で宣伝

日本共産党の亀谷ゆう子衆院島根2区予定候補は15日、江津市内5カ所で森川佳英、多田伸治両市議と一緒に、まちかど演説を行い、来たる総選挙で「市民と野党の共闘で自民党政治を終わらせましょう」と呼びかけました。（写真）

亀谷氏は、国民の怒りを買っている自民党の裏金問題にふれ、日本共産党が企業・団体献金や政

松江・出雲で能登視察報告会

尾村県議、村穂、亀谷の各氏ら

日本共産党島根県委員会は尾村利成県議、村穂江利子県副委員長、亀谷ゆう子衆院島根2区予定候補、遠藤秀和県議団事務局長の4氏を代表団に石川県能登半島・志賀原発視察（5月13～15日）を行いました。志賀町、輪島市を調査した視察団は5月29日出雲市で、30日に松江市で報告会を開き



視察団は、能登半島地震では①志賀原発30キロ圏内14地区で154人が孤立し、原発事故が起きていけば被ばくの危険性があつた②21の放射線防護施設（屋内退避施設）のうち6施設で気密性が維持できない事態となつた③石川県の被害想定は26年間見直されず、実際の被害と被害想定に大きな乖離が生じた④原発推進の志賀町長が再稼働への慎重姿勢に態度を転換したことなどを報告しました。

大國陽介県議は、県が島根半島の防災強化のために実施した臨時ヘリポート候補地（70カ所）

日本共産党街頭演説

7月7日(日) 14:00～松江・県庁前
16:00～出雲ラピタ本店前

弁士

参院議員/党副委員長

山下 よしき



〈私たちもお話します〉

元衆院議員

党県副委員長

衆院島根2区予定候補

大平 よしのぶ
むらほ えりこ
亀谷 ゆう子

〈お詫びと訂正〉 前号(1449号)の1面「臨時ヘリポート適地」の記事で、課長の氏名に誤りがありました。正しくは、加本純也課長でした。お詫びして訂正します。

の視察報告。橘ふみ松江市議は、同半島での住民からの不安の声を紹介しました。

尾村氏は能登半島視察、島根半島調査を通じ「島根原発2号機の再稼働（12月予定）などあり得ない。実効ある避難計画は未策定であり、県民の中には地震・津波災害、原発事故への不安が渦巻いている。再稼働ストップの世論を大きくし、大平よしのぶ元衆院議員の議席奪還で原発ゼロの政治を実現しよう」と呼びかけました。

